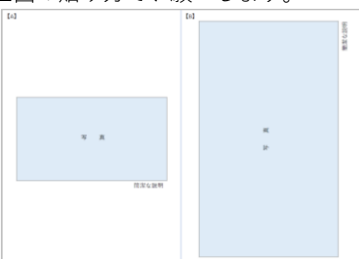


応募要件		
1	日建連の会員企業でなくても応募可能でしょうか。	応募可能です。
2	1社で複数作品の応募は可能でしょうか。	応募可能です。
3	一度応募し、落選した作品を再度応募することは可能でしょうか。	応募可能です。
4	なぜ、供用開始後1年以上経過しないと応募できないのでしょうか。	作品の運用・維持管理状況も含めての評価となるため、供用開始後1年以上としております。
5	博物館と美術館からなる建物を応募したいです。博物館は供用開始後1年以上経過していますが、美術館は供用開始後1年未満です。この段階で応募可能でしょうか。	博物館と美術館の両方が供用開始後1年以上経過していなければ、応募いただけません。
6	複数建物を一括で建築確認申請しました。このうち、一部の建物のみ引渡し済み、供用開始から1年経過しました。この一部の建物のみを作品として応募できますか。	可能です。ただし、複数建物のうちどの部分が応募作品なのかを応募書類上で明示いただくようお願いします。
1) 応募申込書・応募作品説明書		
7	応募様式の枠に収まらない場合はどうしたらよいでしょうか。	文字の大きさやセル幅を変更していただいて構いませんが、様式1および様式2については1枚に収めるよう作成してください。
8	「応募作品の名称」について、命名権が3年間となっております。今後名称が変更になる可能性があるのですが問題ないでしょうか。	表彰式まで変更がないようであれば、当会としては問題ありません。ただし、表彰記念品（表彰パネルおよび賞牌）は、受賞当時の名称で作成しますのでご承知おきください。
9	「建物用途」について、A1（事務所ビル）とF（商業施設）で構成される作品の場合（割合は5：5）、記号を2つ記入すればよいのか、あるいは、J（複合施設）とすればよいのかどちらでしょうか。	用途はいずれか1つを選択してください。ご質問の内容であれば、J（複合施設）となります。
10	「表彰対象者」について、主たる設計者であるX社と共同で設計・監理を担ったY社は、建築主と直接の契約関係にはないのですが、Y社も表彰対象者として応募することは可能でしょうか。	建築主と契約関係のない会社を表彰対象者に加えて応募する場合には、「建築主との契約の有無」欄に×と記入のうえ、別紙にて当該会社の果たした役割、関与、貢献を具体的に記載してください。表彰対象者としての適格性については、選考委員が判断いたします。 記入方法は本資料4ページの記入例を参照してください。
11	建築主が特定目的会社です。竣工後、別の会社に即時に売却された建物で、実質的には売却先の会社が建築主の役割を果たしていますが、このような場合、売却先の会社が表彰対象者となるのでしょうか。	設計者・施工者との契約当事者である特定目的会社が建築主となりますが、売却先の会社も表彰対象者に加えたい場合には、別紙にて当該会社の役割、関与、貢献を具体的に記載してください。表彰対象者としての適格性については、選考委員が判断いたします。
12	複数のタワーで構成されている作品なのですが、様式1と様式2をタワーごとに分けて記載することは可能でしょうか。	可能です。各様式の冒頭にタワー名を明記してください。
13	様式1の「実務担当者」について、建設当時の実務担当者が既に退職しているのですが、当時の担当者名を記載すればよいのでしょうか。	現在の担当者をご記入ください。
14	様式2の安全実績について、「強度率」と「度数率」はどのように算出したらよいのでしょうか。	施工会社へご確認ください。厚生労働省HPの「職場のあんぜんサイト」というページにも記載がございます。

15	様式2の「工事金額」は記載しなくてもよいでしょうか。記載する場合、小数点以下まで記載するのでしょうか。	工事金額は必ず記載いただいております。小数点以下の記載は任意です。
16	なぜ工事金額を記入しなければならないのでしょうか。	適正な価格により正常な施工が行われたかどうか評価の指標の一つとなりますので、ご記入いただいております。
17	様式1の「環境性能」のうち、算出していない項目は空欄でよいでしょうか。様式2の「安全表彰」も特段該当しないのですが空欄でよいでしょうか。	応募申込書および応募作品説明書は、全ての項目にご記入ください。該当しない項目には「該当なし」「－」等を記載してください。空欄のまま提出されますと記入漏れと見なされ、書類の修正・再提出をお願いすることになります。
2) 図面、3) 写真、4) 技術的補足資料、5) 映写用スライド		
18	図面に引き出し線や図を入れてもよいでしょうか。	最低限の解説図や説明図等であれば許容していますが、写真の挿入は不可としています。
19	セキュリティの観点から、図面の一部を割愛したいと建築主から要望されているのですが、問題ないでしょうか。	割愛するもの・しなくてはならないものは、応募者様側にてご判断いただいで構いません。
20	技術的補足資料は、構造2枚・環境1枚・施工1枚・都市計画0枚としてもよいのでしょうか。	1分野1枚でまとめて下さい。
21	作品の特徴は応募作品説明書で説明済みのため、技術的補足資料は添付しなくてもよいでしょうか。添付するとしても、応募作品説明書と同じ内容になるかと思えます。	応募作品説明書は文章のみでご説明いただくものですが、技術的補足資料では写真や図、グラフ等を使用することができます。同一の事項の説明であっても、写真等を用いていただくことで作品の特徴がより伝わりやすくなるかと思われますので、ぜひご活用ください。
22	技術的補足資料について、「環境」の項目には壁面緑化も含めてよいのでしょうか。再生可能エネルギーの利用についてのみではなく、ビオトープや植栽も含めてよいのでしょうか。	壁面緑化やビオトープ等も含め、実施した事項でアピールポイントと思われることであればご記入ください。
23	写真は複数の写真を組み合わせて1枚としてもよいでしょうか。	複数の写真を組み合わせて1枚とすることはご遠慮ください。作成にあたっては、本資料10ページを参照してください。
24	写真のPDFデータはA4判縦に1枚ずつ貼付とのことですが、横長の写真は右図のように横向きに貼付してよいでしょうか。左図の貼り方ですと、写真が小さくなってしまい見づらいのではないかと思います。	左図の貼り方をお願いします。 
25	提出予定の写真について、建築主の承諾がまだ取れていないのですが、応募締切が迫っているので応募してよいでしょうか。	ご応募作品が受賞した場合、提出いただいた写真は報道関係者への配布資料や当会ホームページ等に使用いたしますので、必ず応募前に全ての関係者の同意を得ていただき、著作権や肖像権を侵害することのないよう十分ご注意ください。
26	映写用スライドは、1ページに複数の写真を入れてもよいのでしょうか。また、図面や表を入れてもよいのでしょうか。	建物の特徴がよく表現されている静止画像であれば、1ページに複数の写真や図、表等を用いていただいて問題ありません。作成にあたっては、本資料11ページを参照してください。

その他		
27	2019年から「日建連表彰 BCS賞」となったと書かれていたが、以前の「BCS賞」と違うのでしょうか。	当会は、2019年に「BCS賞」と「土木賞」で構成される新たな「日建連表彰」を創設しました。これに伴い、募集要項も全面的に改定されました。ご応募にあたっては、最新の募集要項、および、当会ホームページや応募申込書に記載の注意書きをよくお読みいただいたうえで書類を作成いただくようお願いいたします。
28	応募書類に不備がないかどうか、応募前に一度内容を確認してもらえないでしょうか。	事前確認は承っておりません。ご応募いただいた書類に不備等があった場合には、事務局よりメールまたはお電話にてご連絡差し上げます。
29	締切日時を多少時間を過ぎても応募を受け付けてもらえますか。	締切日時を過ぎての応募受付はできません。また、例年、締切日にお問い合わせやご応募が集中するため、応募者様と事務局間の確認や連絡に支障が生じることがあります。できる限りお早めにご提出ください。
30	落選した場合、落選理由を教えてください。	落選の理由や落選作品の評価等は公表しておりません。
現地調査関連		
31	一次選考を通過し、現地調査の日程調整の案内が届きました。作品の関係者全員の都合がつく日が4日ほどしかないのですが、そのいずれかで調査してもらえますか。	応募者様から提出いただく調査対応可能日が少ないと、選考委員側との日程調整が難しくなります。できる限り多くの調査可能日を確保していただきますようお願いいたします（ご都合のつかない関係者に代わって代理の方に立ち会っていただく等）。
32	現地調査に対応できる日が極めて限られており、日程調整の目的が立たないため、選考の辞退を考えています。一次選考通過後に辞退した場合、翌年は「一次選考通過済み」として、現地調査から審査を受けられますか。	選考を辞退され翌年以降に再度応募された場合、一次選考からの審査となります。「一次選考通過済み」という扱いにはなりません。
33	現地調査時、応募者側は何をすればよいのでしょうか。用意しておくものはありますか。	現地調査の進行や用意するものは応募者様側にお任せしますので、所定の時間内で選考委員に作品をアピールしていただければと思います。ただし、事前に選考委員側より、必要な資料等について指定があった場合にはご用意をお願いいたします。
34	応募側の出席者の人数は「10人以内を目安」とのことですが、12人になっても大丈夫でしょうか。	10人を多少超えても問題ございませんが、人数過多を避けていただき、作品を熟知された方のみご出席いただくようお願いいたします。
35	駐車場の用意は必要でしょうか。	駐車場が必要な場合には、個別にご相談させていただきます。
36	お忙しいなか遠方までお越しいただいた選考委員の方々に、御礼の品をお送りしたいです。	審査の厳正を期するため、接待や御礼の品等はお断りしております。
表彰記念品関連		
37	設計者や施工者が共同企業体（JV）の場合、賞牌は各社1枚ずついただけるのでしょうか。	共同企業体の代表会社へ賞牌1枚を贈呈いたしますが、お申し出いただいた場合には、代表以外の会社分について有償にて作成を承ります。
38	建築主が賞牌を希望した場合には有償で注文可能でしょうか。	建築主への記念品は表彰パネルとなります。賞牌はご注文いただけません。

第67回 BCS賞 応募申込書

2026 年 月 日

一般社団法人 日本建設業連合会 御中

Excel、PDF形式の2種を提出

応募者住所
社名
者名

(社印)

水色塗りつぶし箇所は必須項目、空欄不可。
記入しない場合はその理由(「該当なし」等)
を記載すること。

受付No.

ふりがな 応募作品の名称	応募後の変更不可		
ふりがな 応募作品の所在地			
建物用途 募集要項末尾の表から代表的な用途を一つ選択 (A~S)	A~S 1つ選択	供用開始日	年 月 日
表彰対象者			
	ふりがな 会社名・代表者名	建築主との 契約の有無	〒・住所
建築主	<ul style="list-style-type: none"> ● 応募後の追加・変更等不可。 ● 正式名称を記入すること。 	—	
設計者	○○設計 <small>だいいょうとりしまりやくしやらう</small> 代表取締役社長 △△ △△	○	〒100-0000 東京都□□区□□1-1-1
施工者	●●建設会社 <small>だいいょうとりしまりやくしやらう</small> 代表取締役社長 △△ △△	○	〒100-0000 東京都□□区□□2-1-1
	●▲会社 <small>だいいょうとりしまりやくしやらう</small> 代表取締役社長 △△ △△	×	×の場合には表彰対象者として応募する理由を、建築主・設計者・施工者相互の協力関係における各関係者の役割と貢献を中心に、具体的に別紙へ記載すること。
	■■・▲▲共同企業体 ■■建設会社 <small>だいいょうとりしまりやくしやらう</small> 代表取締役社長 △△ △△	○	
	▲▲組 <small>だいいょうとりしまりやくしやらう</small> 代表取締役社長 △△ △△	○	〒100-0000 東京都□□区□□2-1-4
備考			
雑誌掲載や表彰等の経歴があれば、記入すること。			

1. 共同で業務に従事した場合には、応募にあたって、関係者名の表示等について関係者の同意を徹底して下さい。
2. 応募作品の名称、建築主、設計者、施工者は、応募後の追加・変更等はできません。社名等の誤記や欠落がないよう確認のうえ、正式名称をご記入下さい。
3. 共同企業体の場合、共同企業体名称の下にすべての構成会社の会社名・代表者名・住所をご記入下さい。スペースが足りない場合は別紙に記載して下さい。
4. 「建築主との契約の有無」欄には、建築主と契約がある場合は○を、ない場合は×を記入して下さい。×の場合には表彰対象者として応募する理由を、建築主・設計者・施工者相互の協力関係における各関係者の役割と貢献を中心に、具体的に別紙へ記載下さい。なお、表彰対象者の要件充足を確認し、適格性を判断の上、変更を求める場合があります。※建築主との契約の有無にかかわらず、分離発注された設備工事、造園工事等の施工者は含まれない事に留意ください。
5. 雑誌掲載や表彰等の経歴があれば、備考欄に記入して下さい。
6. 設計コンペ、プロポーザル等による計画案が変更された場合は、当初案を添付し、変更経緯を記述して下さい。

応募作品所在地案内図

線

駅から

車
徒歩

分
分

◎同寸大の印刷物があれば貼付も可です。

Excel形式にて提出

選考結果、現地調査、表彰式等、応募作品に関する事務連絡窓口となる方を記入すること

連絡担当者(応募作品に関する事務連絡窓口)

応募会社名			
所在地	〒		
	TEL:		FAX:
所属部署・役職			
氏名		Mail:	

応募作品説明書

Excel形式にて提出

1. 作品概要

○ 建築関係実務担当者

	法人名	実務担当者	
建築主		建設企画担当部門名 建物の保全担当部門名	部門名記入
設計者		一級建築士名	
施工者		工事現場責任者名	

○ 建築概要

用途地域											
階数	地上	階	地下	階	塔屋	階					
主たる建物高さ (G.Lより)	建物高さ	m	最高高さ	m							
面積等	敷地面積	m ²	建築面積	m ²	延床面積	m ²					
	容積率	%	建ぺい率	%							
建物仕様概要	構造				主な外装						
	その他 (特殊な仕様等)	空欄不可									
設備概要	電気				給排水衛生						
	空気調和				その他						
環境性能	BEI			BPI			PAL*				
	ZEB (『ZEB』・Nearly・Ready・Oriented)										
	CASBEE (評価ツール名・Ver)				BEE						
	LEED (認証システム名・Ver)				LEEDレベル						
法的諸制度 の適用					建築確認検査済証 番号						
					建築確認検査済証 交付年月日	年	月	日			

法的諸制度：総合設計制度その他容積率・土地利用制限を緩和する制度等をいう。
(注) 各項目は必ず記入し、記入しない場合はその理由を記載すること。

(様式 1)

○ 工事概要

Excel形式にて提出

工 程	工事期間	着工	年	月	日	竣工	年	月	日	期間	年	月	日
	日程		(横線グラフで記入)										
	事業企画												
	計画・設計												
	監理												
	施工												
	施設供用												
引渡後1年目の保全立会検査 (予定を含む)		実施年月日	年	月	日	備考							
工 事 金 額 (単位千円)	工 事 項 目					金 額			備 考				
	総 工 事 金 額					千円							
	内 訳	建 築 工 事 金 額					千円						
		設 備 工 事 金 額					千円						
		そ の 他 工 事 金 額					千円						
	工事単価 (総工事金額/法定延床面積㎡)					千円							
工事単価の内訳		建築工事単価	千円			設備工事単価	千円						
備 考 (その他及び別途工事内容等)													
安全成績		強度率 (延労働損失日数 /延実労働時間 数) × 1,000				度数率 (労働災害による 死傷者数/延実労働時間数) × 1,000,000							
		安全表彰											

(注) 工事金額は税込金額を記入して下さい。

(様式 2)

(注) 工事金額は必須記載事項です。他の記載事項同様に選考資料のみに使用し、それ以外には使用しません。

2. 全体の主たる特徴

画像不可

(注) 全体の主たる特徴は、400 字程度で簡潔にまとめて下さい。

Blank area for describing the overall main features.

3. 企画・設計・施工その他作品の特徴

(注) 文字数制限はありません。必要に応じて枠を広げて下さい。

(1) 事業企画 (事業プログラムの健全性、社会貢献に係わる先見性)

Blank area for describing the features of business planning.

(2) 計画・設計 (デザイン・技術の適切性、設計全般に係わる先進性)

Blank area for describing the features of planning and design.

(3) 施工（管理手法の適格性、難条件克服・技術伝承・生産技術に係わる革新性）

(4) 環境（地域環境・地球環境の持続性、生活環境に係わる上質性）

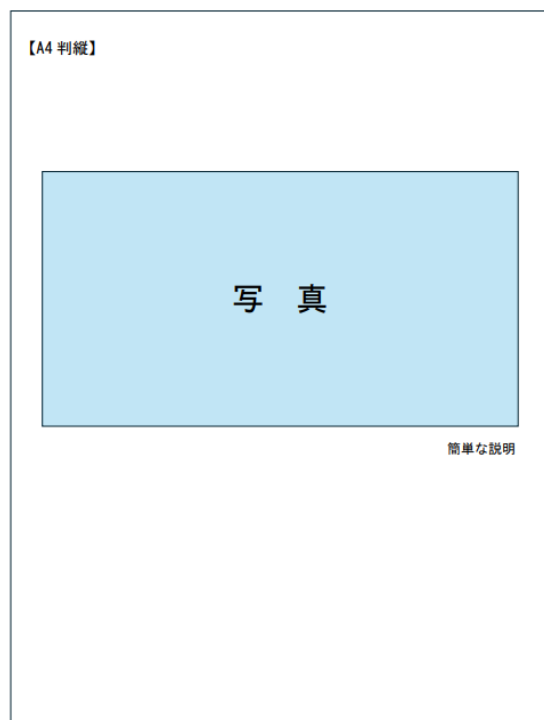
(5) 維持管理（施設の運用性、ライフサイクルに係わる波及性）

2) 図面

- ・ A4 サイズにすること
- ・ 図面内に写真は入れないこと
- ・ 配置、平面、立面、断面、縮尺は適宜
- ・ PDF 形式で提出

3) 写真

- ・ 受賞作品公表時、報道関係への配布資料や本会ホームページ等に使用する
- ・ 写真は 8 枚以内にする(正面もしくは全容の写真及び主たる特徴がわかる写真を8枚のうち必ず含めること)
- ・ **1 ページに複数枚写真の掲載は不可**
- ・ 写真の使用及び著作権については、募集要項 P.4「2.著作権」を参照
- ・ JPEG、PDF 形式の 2 種を提出
- ・ 【JPEG】
 - ✓ 各写真のファイル名に簡単な説明を付けること
 - ✓ **ファイル名の前に数字(受賞時の本会ホームページでの掲載順)を付記すること**
- ・ 【PDF】
 - ✓ A4 判縦の PDF に 1 ページに 1 枚ずつ、JPEG と同一の写真及び説明を付けること
 - ✓ **JPEG と同一の順番に提出すること**
 - ✓ **横向きの写真を提出する場合は下図参照**

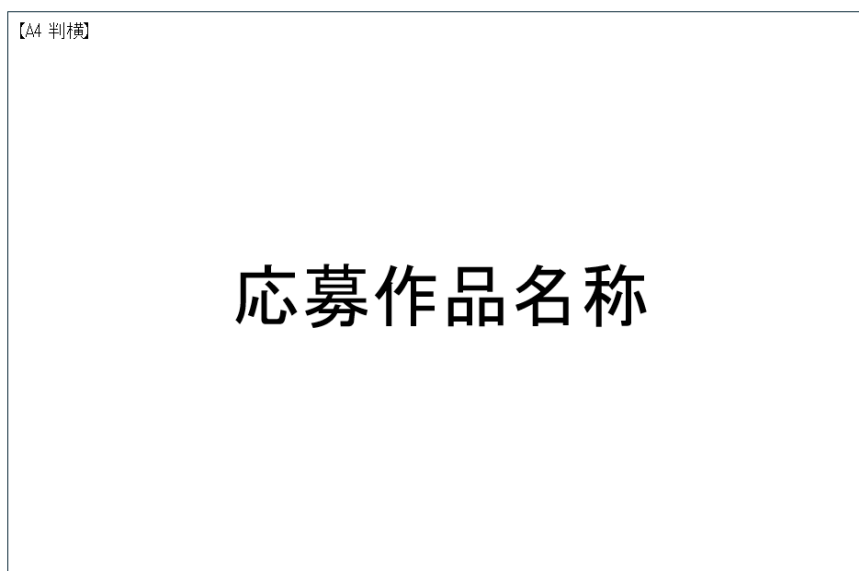


4)技術的補足資料

- ・ 「応募作品説明書(様式 3)」の「3.企画・設計・施工その他作品の特徴」の記述に加え、①構造、②環境、③施工、④都市計画・まちづくりの分野に関する技術的特徴を説明すること
- ・ 「応募作品説明書(様式 3)」と同一の内容とならないよう留意すること
- ・ ②環境については、「応募作品説明書(様式 3)」に記載されていない内容(例えば建物運用時の環境性能等)について特に詳しく記載すること
- ・ ④都市計画・まちづくりについては、社会貢献を含めた具体的な内容、数値を記載すること
- ・ 書式自由(各分野 1 枚以内、計 4 枚以内)
- ・ 写真やグラフ等を入れ、分野ごとに PR ポイントをまとめること
- ・ ①構造、②環境、③施工、④都市計画・まちづくりの順に作成すること
- ・ 各ページの頭に項目(①構造、②環境、③施工、④都市計画・まちづくり)を記載すること
- ・ PDF 形式で提出

5)映写用スライド

- ・ タイトルページ1枚と、建物の内外観、工法、その他建物の特徴がよく表現されている画像ページ 15 枚以内とすること
- ・ 画像ページ内に複数の写真等の使用可
- ・ A4 判横で作成のこと
- ・ タイトルページは応募作品名称のみを中央に黒字で記載すること(下図参照)
※推奨:MSP ゴシック 54 ポイント



- ・ PDF 形式で提出
- ・ 提出された写真等について、著作権使用料が発生するものは、本会は費用を負担しない